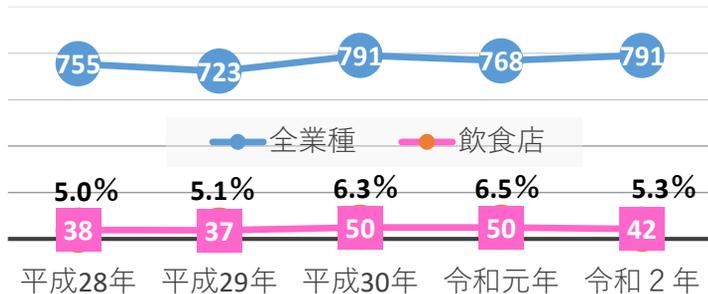


# 飲食店における労働災害防止

## 【飲食店における労働災害発生状況と対策の概要】

### 飲食店ではどのくらい災害が起きている？

立川労働基準監督署管内の飲食店においては、毎年30人～50人の方が休業（4日以上）を伴う労働災害で被災しています。令和2年は前年から減少（-8）となりましたが、依然として全労働災害の5.3%を占める状況にあります（グラフ1）。

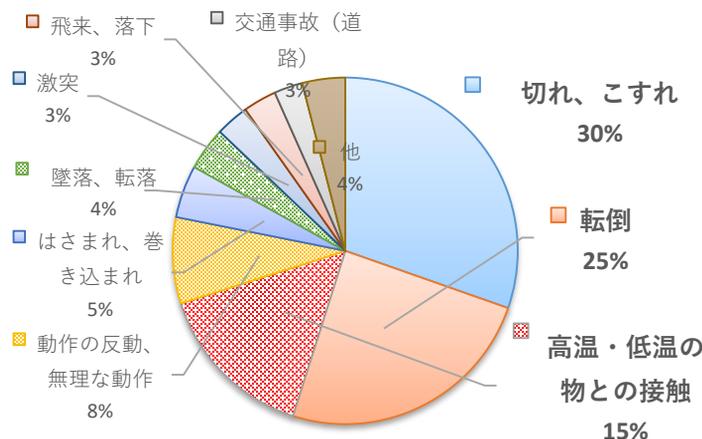


グラフ1 飲食店の労働災害発生状況（平成28年～令和2年）

### どのような災害が起きている？

飲食店においては、次の3つの災害が多くなっています（グラフ2）。

- ①切れ、こすれ 30%
- ②転倒災害 25%
- ③高温・低温の物との接触（火傷）15%

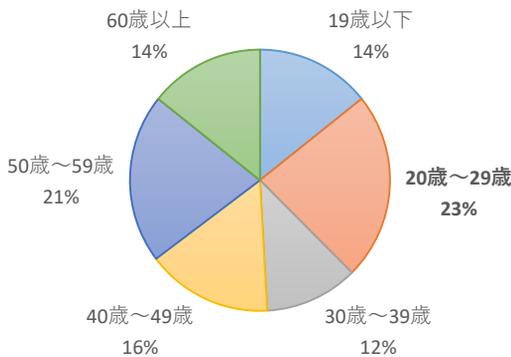


グラフ2 事故の型別発生状況（平成28年～令和2年）

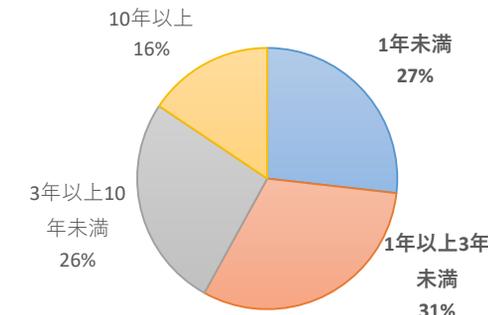
### どのような年代の人が被災している？

年代別では、すべての年代で発生していますが、30歳未満で37%を占めているなど、若年層での災害が多く発生しています（グラフ3）。

経験年数別では、3年未満で58%を占めているなど、経験の浅い方の被災が多くなっています（グラフ4）。



グラフ3 年代別発生状況（平成28年～令和2年）



グラフ4 経験年数別発生状況（平成28年～令和2年）

## 飲食店の災害の具体的な事例は？

### 切れ・こすれ

厨房内で、

- 包丁で切創した。
- 包丁を研いでいる際、誤って指を切創した。
- 洗い場で洗浄機からジョッキグラスを移動させようとしたところ、手を滑らせ落下、割れたグラスで指を切創した。
- 電子レンジの耐熱皿が割れ、指を切創した。
- 缶の鋭利な部分で指を切った。

店内で、

- グラスラックの仕分け中、誤ってグラスをぶつけ破損し、破片が当たった。



### 高温・低温の物との接触（火傷）

- ゆで汁がこぼれ、手にかかった。
- スープをレンジから取り出す際、手にかかり火傷した。
- フライヤーの清掃作業中、床に置かれた高温油の入った容器に足を入れてしまった。
- 厨房内を移動中、タレの入った鍋に躓き、膝が鍋に入って火傷を負った。



### 転倒

厨房内で、

- グレーチングに躓き転倒した。
- こぼれていた油で滑り転倒した。
- 床に置いてあった寸動鍋に躓き転倒した。

バックヤードで、

- 足を滑らせ転倒した。
- モップに躓き転倒した。

駐車場で、

- 駐車場の段差で転倒した。



### その他

#### 墜落・転落

- 厨房内で上方の棚から物を取ろうと作業台に乗ったが滑って転落した。

#### 動作の反動・無理な動作

- 荷物を運ぶ際、腰を痛めた。

#### 交通事故

- バイクで配達中交通事故に遭った。

#### 飛来・落下

- 棚に食器を片付ける際、顔に落下した。

## 具体的な労働災害防止対策はどうすればよいの？

### 「切れ・こすれ」災害防止のポイント

- 刃物は置き方、置き場所を安全に！
- 割れた食器、欠けた食器に注意！
- 缶の鋭利部分に注意！
- 加工機械の刃物の清掃に注意！



### 「転倒」災害防止のポイント

- 床は常に「清掃」「清潔」で安全に！
- 大きい物、重い物は「台車」で！
- 物を持った移動は「転倒」の危険大！
- 通路は明るさ確保！



### 「高温・低温の物との接触」災害防止のポイント

- フライヤー周りは「整理」「整頓」！
- 熱いものを持つての移動は声かけ注意！
- 暑熱場所では水分補給と休憩を！



いずれの災害についても「4 S活動」（4 S：整理・整頓・清掃・清潔）の実施によって、職場に潜む労働災害のリスクが低減され、職場の安全確保に効果的です。

## 安全の担当者（安全推進者）の配置

安全衛生推進者等の選任が義務付けられていない業種（その他の小売業など）についても、安全推進者を配置し、安全管理体制の充実を図りましょう（配置の際は「氏名」を掲示）。



### <職場内の作業方法、危険箇所の改善>

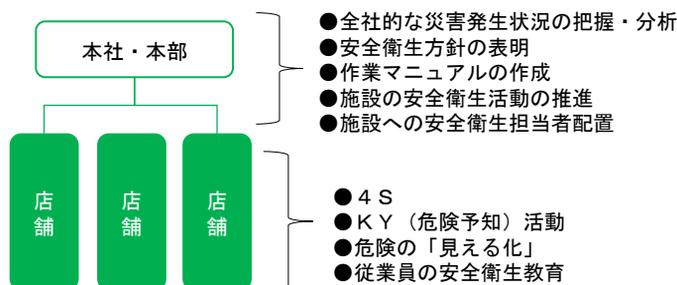
- ①職場内の4 S活動（整理・整頓・清掃・清潔）
- ②包丁や台車等の安全な取扱い
- ③床面の凸凹、水・油等の解消（危険箇所の解消）

### <働く人の安全意識を向上>

- ①朝礼等で労災防止の意義、取り組みの周知
- ②安全な作業（脚立、器具の操作等）の教育
- ③危険の周知（見える化、私の安全宣言）

## 安全で安心な店舗・施設づくり推進運動

飲食店等で増加している労働災害の減少を図るため、多くの店舗を展開する企業本社等が主導して、店舗における安全衛生活動について全社的に取り組むことなどを推進する運動です。



詳しくはこちら⇒

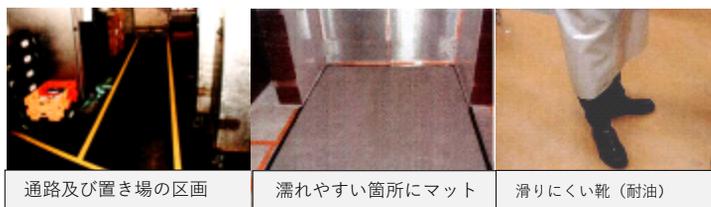
安全 安心 推進運動

検索

## STOP！転倒災害プロジェクト

厚生労働省と労働災害防止団体は、労働災害のうちで最も件数が多い「転倒災害」を減少させるため、「STOP！転倒災害プロジェクト」を推進しています。

6月は転倒災害防止の重点取組期間です！



詳しくはこちら⇒

STOP 転倒

検索

## エイジフレンドリーガイドライン (高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン)

厚生労働省では、令和2年3月に「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」を策定しました。

働く高齢者の特性に配慮したエイジフレンドリーな職場を目指しましょう。



エイジフレンドリー

検索